

所属・役職	
氏名	小口哲司

1. 問題点の要約（内容を2～3行の文章にまとめること）

新入社員に新製品を開発/立案できるだけの
センスと実力が殆んど養われないう。

2. 内容説明（なるべく具体的に、できれば対策も記入のこと）

昭和 年, 旧 部と 部
とが併合, 分離して, 部と
部が組織された。部は集積回路の
基礎的な回路設計, デバイス設計技術を基盤として,
集積回路が応用される装置におけるハードウェア, ソフトウェア
両面での幅広い知識を持ち, 新製品の開発を
システムレベルで行うことを目的としている。部
は個々の製品開発を実際に行う。

昭和 年度以降に入社後, 部に配属された
社員は実際に集積回路を設計, 量産化した実績と経験
を持たぬため, 仕事に対して興味と探究心とを持ち
積極的に物事にぶつかると性格の人間以外は,
上っ調子な仕事しかこなすことが出来ず, 実績をあげ得ない。
新製品開発は一握りのベテランが遂行し後継者が育たない
のが現状である。机上での勉強が主となり, 実戦力と
成り得ない。無責任で軽薄な雰囲気も助長され, 向上心が
よそ見をしている。技術力/開発力の向上を第一義として
捉えず, 英会話力という安直, 安易な方向にのみ走る。

対策: 部とのローテーション。(2~3年毎
経過をみて帰部)